



平成28年5月10日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
 (コード番号 6619 東証第一部)
 問合せ先 取締役 CFO 兼 経営企画本部長
 竹 居 邦 彦
 (TEL 03-5436-7155)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月12日付で公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成28年12月第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------------------------|-------|-------|-------|----------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 4,000 | 800 | 800 | 700 | 49. 37 |
| 今回修正予想(B) | 4,400 | 1,300 | 1,200 | 1,000 | 70. 39 |
| 増減額(B-A) | 400 | 500 | 400 | 300 | |
| 増減率(%) | 10.0 | 62.5 | 50.0 | 42.9 | |
| (ご参考)前期実績 (平成27年12月期第2四半期) | 3,156 | 638 | 731 | 643 | 45. 43 |

(注) 前期実績の営業利益には営業外収益に表示していた作業くず売却益34百万円を含めて表示しております。

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 10,000 | 2,100 | 2,100 | 2,000 | 141. 04 |
| 今回修正予想(B) | 10,000 | 2,600 | 2,500 | 2,300 | 161. 89 |
| 増減額(B-A) | - | 500 | 400 | 300 | |
| 増減率(%) | - | 23.8 | 19.0 | 15.0 | |
| (ご参考)前期実績 (平成27年12月期) | 7,448 | 1,982 | 2,054 | 1,829 | 129. 04 |

(注) 前期実績の営業利益には営業外収益に表示していた作業くず売却益73百万円を含めて表示しております。

【修正の理由】

当社が属するリチウムイオンバッテリー業界のマクロ環境はEVやEVバス等車載用途の需要拡大を背景に、リチウムイオン二次電池用セパレータの市況においても上昇局面が続いております。このような環境下、第1四半期は中国の民生用途市場では閑散期にあたることを前提に期初計画を策定致しました。しかしながら、中国の車載用途および民生機器用途の主要顧客からの受注が安定的に推移、売上は質・量の両面で計画を上回ることとなりました。さらに、生産において生産性の向上および高操業度を維持することができたことから、利益率も上回ることとなりました。

以上の要因に加え、平均為替レートが下記の通り当社想定レートに比べ、対ドルに対し円安に、対ドルに対しウォン安に推移したことから、売上・利益の改善につながりました。これらの結果、営業利益におきまして開示済みの第2四半期連結累計期間の営業利益が計画を上回る結果となり、業績予想を修正することと致しました。

| | 期初想定 為替レート | 実績為替 レート | 差異 | 損益への影響 |
|-------------|---------------|--------------|----------------|----------|
| 円対1米ドル | 110 円 | 115.21 円 | 5.21 円円安 | 売上・利益の増加 |
| 円対1,000 ウォン | 100 円 | 95.9 円 | 4.1 円円高 | 利益の増加 |
| ウォン対1米ドル | 1,100 ウォン | 1,201.44 ウォン | 101.44 ウォンウォン安 | 利益の増加 |

(第2四半期以降の見直し)

当社グループの主力事業であるリチウムイオン二次電池用セパレータ事業における経営環境に大きな変化はなく、安定的に推移すると想定しております。従いまして、第2四半期以降の業績予想の策定にあたっては、売上および利益計画は、期初計画から大きな変更をしておりません。また、進行中の設備投資計画につきましては、期初計画からの大幅な変更は想定されておりません。

第2四半期以降の想定為替レートにつきましては、昨今の為替相場等を鑑み、下記の通り見直しております。

| | 期初想定 為替レート | 第2四半期以降 想定為替レート | 差異 |
|-------------|---------------|--------------------|--------|
| 円対1米ドル | 110 円 | 105 円 | 5 円 |
| 円対1,000 ウォン | 100 円 | 100 円 | - |
| ウォン対1米ドル | 1,100 ウォン | 1,050 ウォン | 50 ウォン |

以上の要因から、平成28年2月12日付の公表数値を修正致します。

【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上